

## <ポイント版> ぎふ経済レポート（平成 27 年 4 月分）

### 【景況感】

景気回復の足踏みが続いている。

### 【製造業】生産、売上は輸送用機械関連を中心に好調を維持

○製造業全体では輸入原料の高騰によるコスト高が続いているが、輸送用機械関連を中心に受注や生産は好調を維持しており、大型の設備投資の動きも見られる。

### 【地場産業】依然として厳しい状況が続いている

○依然として消費意欲の減退や海外製品との競合、原材料費の値上がりなどにより厳しい状況が続いているものの、生産に落ち着きを見せ始めた企業も一部で見られる。

### 【個人消費】消費の回復状況に頭打ちの感が見られる

○全体としては、依然として売上、客数ともに、前年の水準を下回った小売店が多数見受けられるものの、大手小売店や家電量販店等で、売上が前年同月比を上回るなど、駆け込み消費の反動減によるマイナスが一巡した感がみられる。

### 【観光】インバウンドは好調を維持

○施設によってバラつきはあるものの、宿泊客数は前年を上回っている。インバウンドは、アジアからの観光客の増加により、前年比で好調を維持している。また、トータルで見た観光入込客も前年比で好調。

### 【雇用】一部の業界において人手不足が発生している

○雇用面では、大学・短大・高校卒業者の就職内定率が最近 6 年間で最も高い水準となるなど、新卒採用を拡大する動きが見られるものの、製造業の一部や建設業、非製造業では、人手不足に陥っている企業が見受けられる。

### 【設備投資】前向きな設備投資が同水準を維持、投資意欲は改善傾向

○設備投資の目的のうち、「生産能力拡大・売上増」といった前向きな設備投資が前月と同水準で推移し、「補修・更新」といったやむを得ない理由が増加した。設備投資意欲は改善傾向にある。

### 【資金繰り】資金繰りは改善傾向

○新規融資実績は減少傾向にあるが、借入難易度は緩やかながらも着実に改善している。